

2007年7月25日
ベリングポイント株式会社

ベリングポイント、グーグル検索エンジンを活用した 企業向けサーチソリューションプラットフォーム 「BEEP」を国内で提供開始

～ インターネットやイントラネットだけでなく、データベースや業務システムなど
企業内のあらゆる情報の体系化が可能に ～

ビジネスコンサルティング大手のベリングポイント株式会社(本社:東京都千代田区、社長:内田士郎、以下 ベリングポイント)は、インターネット検索世界最大手のグーグル株式会社(本社:東京都渋谷区、社長:村上憲郎、以下 グーグル)の企業向けサーチ製品「Google 検索アプライアンス」の機能を拡張する企業向けサーチソリューションプラットフォーム「BearingPoint Extension Platform (以下 BEEP(ビーブ))」を本日より、国内で提供開始いたします。これにより、ユーザー企業は国内・海外拠点に分散している膨大な社内データやあらゆる業務システムの情報にアクセスし、インターネット上の検索サイトと同様の容易な方法で各システムの情報を瞬時に検索することが可能になります。

「BEEP」は、「Google 検索アプライアンス」を拡張し、従来の検索エンジンでは概して検索対象にすることが困難でありアクセス権が制御されているファイルサーバー、コンテンツ管理システム、リレーショナルデータベース、ERP(基幹業務システム)やCRM(顧客関係マネジメント)などのビジネスアプリケーション上のデータ検索も可能にする企業向けサーチソリューションプラットフォームです。「BEEP」のプラットフォームに適合するアプリケーション・アダプタを追加あるいはカスタム開発することで検索対象とするアプリケーションをニーズに応じてより簡単に拡張することが可能です。米ベリングポイントでは、MS-Access などのマイクロソフト社製品、SAP などの ERP パッケージ、コグノスなどのビジネス・インテリジェンスツールなど 10 以上のアプリケーション・アダプタを既に開発済みです。

企業ユーザーは「BEEP」プラットフォームを導入することにより、情報がどこに格納されているのかを意識することなく、使い慣れた Google 検索ボックスで企業内の情報を即座に検索することが可能となります。セキュリティエリア内のデータアクセスについては、「BEEP」が備えるシングル・サインオン機能によって検索対象データシステムへのユーザーのログオン処理を統合管理することが可能です。また、既に LDAP (Lightweight Directory Access Protocol:エルダップ)などの外部の標準的な認証機能を使って大規模にユーザー管理を行っている企業では、既存の認証機能を変更することなく、そのまま連携させることが可能です。また、検索結果の表示方法(GUI:グラフィカル・ユーザー・インターフェイス)も利用者のニーズに応じてカスタマイズできるように「BEEP」の内部をコンポーネント化しているため、将来的には検索結果を携帯電話やスマートフォンなどに最適化して表示することも可能になります。

急速なネットワーク化が進み、オフィスワークが情報作業に変化した結果、企業内では膨大な情報が散在し、数多くのサーバーが稼動しています。必要な情報を探し出す時間(コスト)がますます増加する一方で、検索できないデータや情報はその企業に存在しないに等しくなります。その結果、既にある情報に気づかずに重複作業が発生したり、蓄積された情報が有効活用されていないなどの状況が多く見られます。インターネットの Web サーチでは、検索ボックスにキーワードを打ち込むだけで瞬時に世界中の情報を簡単に検索することができますが、企業内ではアプリケーションの違いやセキュリティのアクセスコントロールの制約上、シームレスに検索することができませんでした。

「BEEP」では、グーグルの Powerful な検索エンジンに拡張性と柔軟性、および企業向けのセキュリティ機能を追加することにより、既存のシステムや資産を最大限に活用することが可能となります。この汎用的な企業向けのサーチプラットフォームを導入することにより、現在企業が抱えている情報検索や情報活用に関する課題を解決するだけでなく、新しい情報活用のシーンが想定されます。

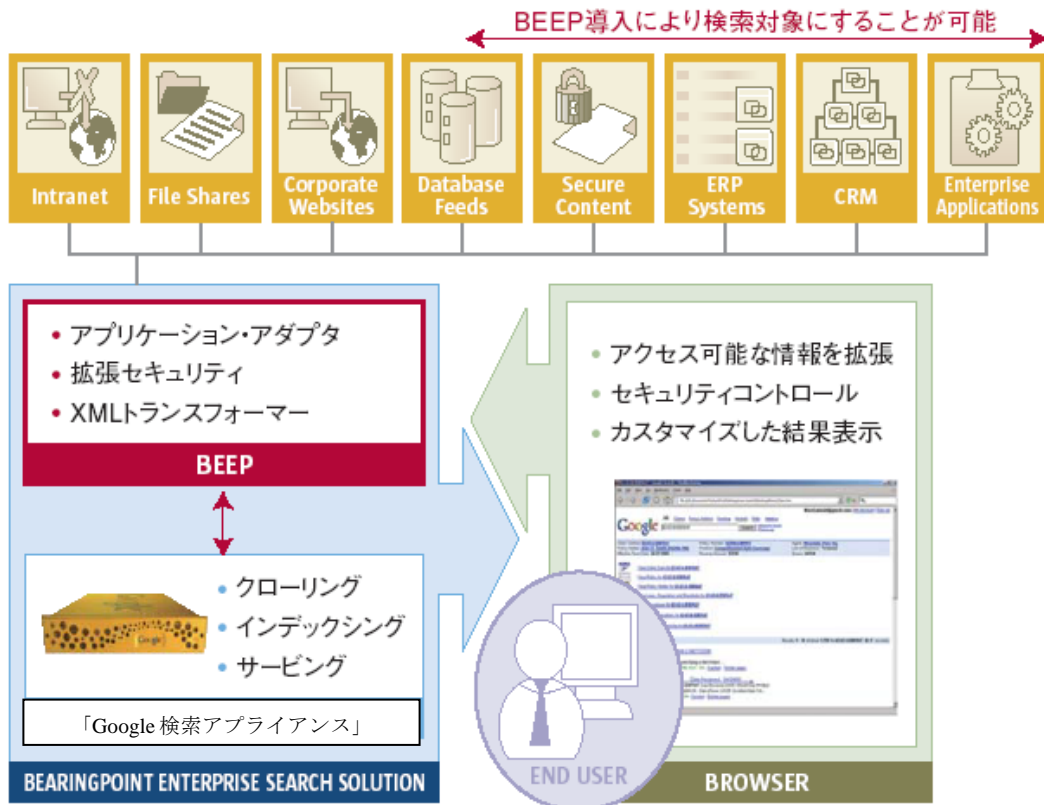
- ・ 複数の業務システムからの情報が必要なカスタマーサポート業務
- ・ 事業部間で使用しているアプリケーションが異なる場合の人材情報管理や企業内ナレッジ管理業務
- ・ 携帯電話やスマートフォン向けのモバイル営業支援システム
- ・ 「Google デスクトップ」や「Google マップ」などの既存のアプリケーションと組み合わせた統合検索ソリューション、など

米ベリングポイントでは、既に保険業界、製薬業界などで「BEEP」の導入が進んでいます。米国大手保険会社では、保険情報や顧客情報など複数システムを横断した情報の取得に「BEEP」を活用し、顧客サービスの向上を図りました。また、米国大手製薬会社では、医療情報、製品情報、人材情報など社内外に散在した情報の抽出やナレッジマネジメントに「BEEP」を活用し、情報マネジメントを改善しました。

ベリングポイントでは、「BEEP」による企業向けサーチソリューションを経営管理や CRM、HRM(人材マネジメント)など、既存のビジネスコンサルティング・ソリューションと連携させることで、ビジネスとテクノロジーの両側面からユーザー企業の情報の戦略的活用による競争力の強化を支援いたします。今後、「BEEP」については米ベリングポイント、アダプタの開発を行う中国やインドの「グローバル・デベロップメント・センター(GDC)」と連携しながら、日本でも「BEEP」アダプタの開発や接続先のアプリケーション拡充などの面で積極的にアライアンス・パートナーも拡大する予定です。

ベリングポイントは、「BEEP」による企業向けサーチソリューションを基に、組織改革、プロセス改革などのビジネスコンサルティングサービスを提供する専任部隊の設立を計画しており、兼任も含め年内に 30 名体制を見込んでいます。

■ BEEP サーチソリューション



「Google 検索アプライアンス」の検索エンジンと「BEEP」アダプタにより、エンドユーザーは、基幹系業務システムやアクセス権限のついたファイルサーバーなどに対して検索処理が可能です。検索エンジンとデータソース、あるいはアプリケーションの間に「BEEP」アダプタをいれることで、データ形式の違いや煩雑な個別のセキュリティ管理を「BEEP」が吸収します。既存のシステムや個別アプリケーションの管理を変更することなく、エンドユーザーは単一のインタフェースと操作で許可されたすべてのデータソースに対して検索を実行することができるようになります。

本件に関するお問い合わせ先:

プライスウォーターハウスクーパース コンサルタント株式会社(旧ベリングポイント)
マーケティング

E-mail: consultants.inquiry_mailbox@jp.pwc.com